

国保財政の安定運営のため

昭和36年度から始まった国民健康保険制度は、医療保険制度の基盤として、また、最後の砦として重要な役割を担ってきました。しかしながら、低所得者、非正規雇用労働者、高齢者などを多く抱えていること、市町村間で医療費、保険税（料）の水準に大きな格差があることなど、国民健康保険の運営には様々な問題があり、財政運営及び事業運営の両面にわたる抜本的な改革が課題とされていたところです。そういう中、平成27年の改正により国の財政支援が大幅に拡充されるとともに、平成30年度から都道府県が市町村と共同で国民健康保険の運営を担うこととなりました。

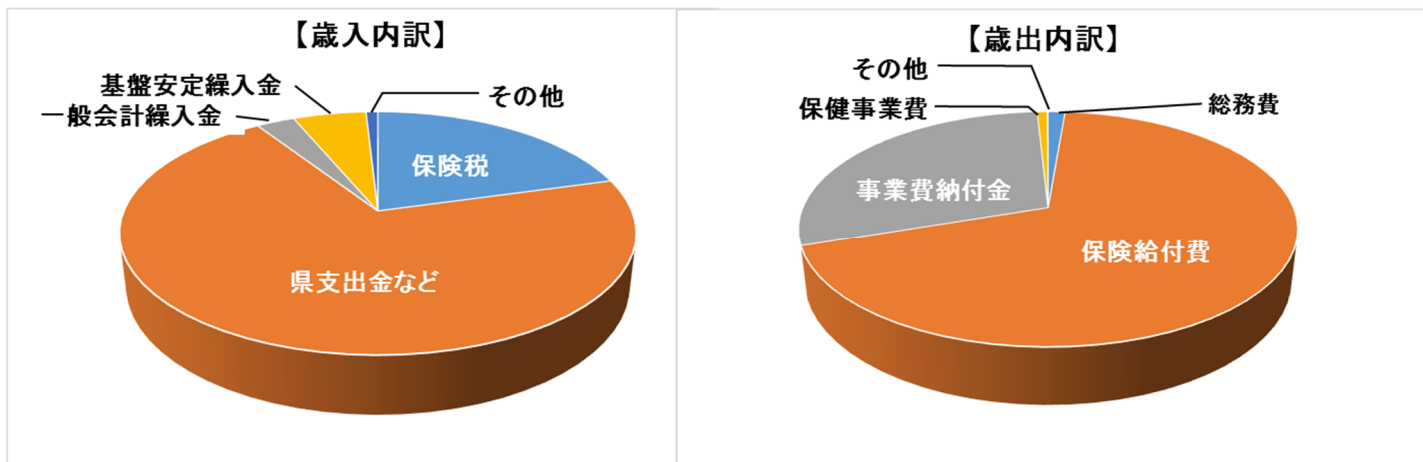
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、年度前半は医療機関等への受診控えが見受

けられ、全国的にも感染対策としてのマスク着用、手洗い・うがいの励行などが浸透したことに伴う呼吸器系疾患の減少が影響し、医療費が減少したとみられています。

そのような中、令和2年度の玉名市国民健康保険財政は、単年度収支が黒字となることができました。黒字にはなりましたが、約1,525万円の少額の黒字のため以前と変わらず厳しい財政状況となっています。

国民皆保険制度をこれからも守り、持続可能な医療保険の仕組みを継続できるよう、玉名市としても国民健康保険財政の安定運営のため、特定健診の受診率・特定保健指導率の向上及び医療費の抑制のための取り組みを行ってまいります。

■令和2年度国民健康保険事業決算状況（単年度収支）



(単位：千円)

保険税	1,787,809	(20.7%)
県支出金など	6,063,082	(70.1%)
一般会計繰入金	247,473	(2.9%)
基盤安定繰入金	472,157	(5.4%)
その他	76,811	(0.9%)
歳入合計	8,647,332	

(単位：千円)

総務費	113,493	(1.3%)
保険給付費	5,913,034	(68.5%)
事業費納付金	2,532,849	(29.3%)
保険事業費	67,981	(0.8%)
その他	4,721	(0.1%)
歳出合計	8,632,078	

歳入合計－歳出合計＝15,254千円

国民健康保険事業の安定的な運営を確保するため、保険税の納付と医療の適正受診にご理解とご協力をお願いします。